

# 平成26年度 犬山「子ども大学」 実施状況報告書



主催：(特) 犬山しみんていの会

## 目次

はじめに

1. 犬山「子ども大学」の充実、発展にむけて

2. 講座別参加状況

3. 各講座の紹介

<犬山市委託事業>

- ① 国際理解 世界をめぐる子ども達
- ② 日本文化にふれよう！ “お茶・お花”
- ③ 生き物探検隊 パートⅠ
- ④ 生き物探検隊 パートⅡ
- ⑤ サイエンス 電子工作
- ⑥ 君も エジソンになれる！
- ⑦ はじめての 楽しい陶芸
- ⑧ 囲碁・将棋たいけん教室
- ⑨ 伊勢型紙 “やさしい 型紙づくり と 型ぞめ”
- ⑩ 楽しく絵をかこう 午前の部
- ⑪ 楽しく絵をかこう 午後の部
- ⑫ 和太鼓を たのしく たたこう
- ⑬ 押し花で ものづくり
- ⑭ 犬山原始人クラブ
- ⑮ レクススポーツって なんだ？
- ⑯ 冒険教室 ～基礎コース～
- ⑰ 子どもの自然教室 午前の部
- ⑱ 子どもの自然教室 午後の部

<あいちモリコロ基金助成事業>

- ① 生き物探検隊 クライマックス
- ② 冒険教室 ～上級コース～

4. アンケート調査結果

5. 子ども大学運営委員会名簿

# 1. 犬山「子ども大学」の充実、発展にむけて

(特) 犬山しみんていの会コーディネーター

犬山子ども大学運営委員会委員長 川島紀之

犬山子ども大学は、犬山市教育委員会が平成14年度から学校週休2日制への対応策として始めました。当会は、平成15年9月にNPO法人を取得した機会に、犬山市教育委員会へ提案を行い、それを受け入れてもらい平成16年度から委託を受け実施することになりました。

平成26年度は、20講座420人です。ここ数年やや受講者が減ってきていますが、これは児童・生徒数自体が減少してきていることとも関係があるものと考えています。(25年度20講座421名、24年度22講座431名、23年度21講座453名、22年度は22講座473名、21年度21講座408名、20年度22講座436名、19年度17講座362名、18年度18講座363名、17年度15講座287名、16年度13講座196名)

26年度の特色は、「生き物探検隊クライマックス」が活動時間7時間が4回、「冒険教室～上級編～」では活動時間7時間が4回、一泊二日が3回です。この二講座は、子ども達が一回り大きくなり、成長したのを見えるようになりました。

私は、子ども達の世界から集団による遊びがなくなったことが、子ども達に大きな問題を引き起こしている主因と考え、その方策として子ども達に仲間との関わり方、友達づくりになることのできる機会を数多く作って来ました。この姿勢は今後とも変わることはありません。

当会では、子ども大学の講座を行う上で、次のことを大切にしています。

- 1 子ども達が、学校・家庭でできない体験をすることによって、感動と達成感を味わって欲しいこと⇒感動と達成感の場の提供
- 2 保護者及び多くの方に、体験活動＝“遊び”が、子どもの成長にとって”かけがえのない宝物”であることの普及をはかること⇒体験活動の大切さの普及
- 3 少子化社会の中で、各地域で子どもの健全育成を進めていく土壌づくりに寄与していくことができたら嬉しいと考えています⇒地域での青少年健全育成の場の拡充

参加者数が着実に増加していることは、保護者の方々が、私が考えている『子どもの将来にとって体験活動の大切さ』を十分理解して頂いていることの表れと考えています。

おわりに、この子ども大学にご協力いただいている指導員・講師の方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



☆活動成果発表会 平成27年2月1日(日)

## 2. 講座別参加状況

[学校別]

		楽田小	羽黒小	東小	南小	西小	北小	城東小	今井小	池野小	栗栖小	城東中	大山中	東部中	南部中	市外小中	小計
犬山市委託																	
①	国際理解	6	1		3	3		4								5	22
②	お茶お花	4	2	1	4	3	5	1									20
③	生き物探検隊Ⅰ	3	5	4	3	4	2	2								4	27
④	生き物探検隊Ⅱ	1	3	1	4	3	1	2								2	17
⑤	電子工作	1	2		4	1	4	3								3	18
⑥	エジソン	6	4	7		3	6	5								2	33
⑦	楽しい陶芸	3	2	2	5		7	2			1						22
⑧	囲碁将棋	4	2	1	4		6	5		1							23
⑨	伊勢型紙	3		2	2	1		4									12
⑩	絵画教室AM	1	6	1	1	3	5	1		1							19
⑪	絵画教室PM	7	1	3		1				1			1			1	15
⑫	和太鼓	10			1	3					1					3	18
⑬	押し花		1	1	3	7	5	3			2						22
⑭	原始人		9		3			8								3	23
⑮	レクスポーツ	3	6	2	5	3	1	14	1	2						1	38
⑯	冒険教室基礎	2	4	1			10	1									18
⑰	自然教室AM	4	3				4	10								2	23
⑱	自然教室PM	1	3	3	1	7	4	1		1						2	23
あいちモリコロ基金助成事業																	
⑲	生き物クライマックス	3	5		1		1						2			1	13
⑳	冒険教室上級				2	2	1	4		2			2			1	14
計		62	59	29	46	44	62	70	1	8	4	0	2	3	0	30	420

[学年別]

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中1年	中2年	中3年	計
犬山市委託											
①	国際理解	4	7		8	2	1				22
②	お茶お花	4	2	2	7	4	1				20
③	生き物探検隊Ⅰ		11	10	6						27
④	生き物探検隊Ⅱ			9	6	2					17
⑤	電子工作			2	7	5	4				18
⑥	エジソン	7	10	4	2	8	2				33
⑦	楽しい陶芸	6	2	9	2	1	2				22
⑧	囲碁将棋	6	5	5	2	3	2				23
⑨	伊勢型紙	1	2	3	2		4				12
⑩	絵画教室AM	8	7	2	1	1					19
⑪	絵画教室PM	9	1	2		1	1			1	15
⑫	和太鼓			3	5	5	5				18
⑬	押し花	2	7	2	6	5					22
⑭	原始人				7	9	7				23
⑮	レクスポーツ	5	13	3	11	2	4				38
⑯	冒険教室基礎			9	4	2	3				18
⑰	自然教室AM	10	6	5	2						23
⑱	自然教室PM	11	8	1			3				23
あいちモリコロ基金助成事業											
⑲	生き物クイズ				5	4	2	1	1		13
⑳	冒険教室上級				1	8	3	1		1	14
計		73	81	71	84	62	44	2	1	2	420

### 3. 各講座の紹介

<犬山市委託事業>

#### ① 国際理解 “世界をめぐる子ども達” 参加者数：22名

指導員：松本里美・齋藤知子 [(特) シェイクハンズ], 外国人講師

内容：まだ見ぬ国に出会おう。夏に異文化体験キャンプや、領事館へも訪問します。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前9時30分～11時30分 (原則)

回	月 日	内 容
①	6/14	ペルーの食と文化を知ろう
②	7/19	フィリピンの食と文化を知ろう
③	8/3	尾張富士 石上げ祭に参加
④	8/9～8/10	宿泊交流会 ワールドミニキャンプ
⑤		「僕たちの多文化体験」多文化ワールドキャンプ
⑥	10/15	ペルー領事館の訪問と、JICAなごや地球ひろば
⑦	11/29	アフリカの文化や暮らしを知り、歌って踊ろう
⑧	12/7	フロイデまつりで民族衣装のファッションショー
⑨	12/20	クリスマス料理でハンガーバンケット
⑩	1/17	中国の手づくり餃子で旧正月を楽しもう

#### 講師コメント

- ・ 低学年の子ども達が多い割には、毎回質問も多く、興味や好奇心がいっぱいの子供達と、1年間とても楽しく料理などに取り組みました。
- ・ 特にワールドミニキャンプでフォルクローレを元気にいっしょに踊った時や、みんなで巨大ワールドフラッグを作っていた時の笑顔が印象的でした。
- ・ 毎年恒例のハンガーバンケットでは、貧しい国の人たちのことを、思いやる事が出来、みんなで工夫して食べ物が行き渡るよう努力していました。
- ・ 外国の人達にも積極的に話しかけていました。
- ・ 特に完成物は無い分野ですが、ひとり一人の心の中に、世界の人々に対する興味や思いやり、仲良く、解り合う気持ちの灯が燃え続けますように・・・。



#### 参加者感想

- ・ 料理がいっぱいできたと、いっぱいわかるようになりました。
- ・ 外国の料理を作って食べたり、ほかの国のことを楽しく勉強できるので参加するのが楽しみ。
- ・ お料理とか色んなものを作るのが楽しいです。
- ・ アフリカのおどりが楽しかったです。
- ・ たのしく外国のことを学べてたのしいです。



## ②日本文化にふれよう！お茶・お花

参加者数：20名

指導員：伊東千恵子・小島美喜子・鵜飼豊江〔犬山市文化協会茶華道部〕

内容：季節のお茶お菓子をいただきながら、感謝の心や礼儀作法を身につける。

お花を生けることで、命の大切さ、植物の命、自然を学ぶ。

対象学年：小学1年生～6年生

活動時間：午前9時30分～11時30分

回	月日	内容
①	6/14	・基本動作（部屋への入り方、床の間拝見の仕方） ・お抹茶、お菓子のいただき方
②	6/21	・お点前の基本練習（ふくさ、茶器などの扱い方） ・お抹茶の点て方、お菓子の出し方
③	6/28	・お茶の歴史 ・基本練習、復習 ・お客様の練習
④	7/5	・お盆でお点前 ・お客様の復習
⑤	7/12	・ミニ茶会を開きましょう
⑥	9/13	・植物の生きる力
⑦	10/11	・草木の水上げの仕方
⑧	10/25	・生け花の歴史
⑨	11/8	・季節の花をおぼえよう
⑩	12/20	・クリスマスの花を活ける

### 講師コメント

#### 伊東千恵子

- ・ 楽しい雰囲気の中で学ぶことに心掛けました。
- ・ 四季折々の花や行事の花として、祝いの花・プレゼントの花を体験させました。
- ・ 発表会も参加者が多く、教える喜びを感じました。

#### 小島美喜子

- ・ 今年度は講座を夏休み前に集中的に行ったため、学校行事で3名休んだだけで、毎回全員出席でした。
- ・ 特にミニ茶会は盛会でした。
- ・ 「畳・正座・床の間」と、日本文化にふれることが珍しい子どもも楽しそうでした。
- ・ 改めてやりがいのある講座だと感じました。



### 参加者感想

- ・ お茶やお菓子がおいしくて休みたくありませんでした。日本の文化に触れることは大切だと思います。
- ・ お茶をやってみて日本の文化に触れることが出来ました。先生方も優しく詳しく教えて下さり、よく知る事が出来ました。友だちも作る事が出来たし、茶道の事をよく知っておいしいお抹茶を点てられたのでとてもよかったです。
- ・ 日本の和のお茶を点てる事が出来たりなどすごく楽しかったしおもしろかった。
- ・ 和菓子がおいしかった。お茶をいっぱい点ててうまくなりたい。
- ・ 家や学校では細かな事をやらないから、日本の文化の事がよくわかりました。特に感じた事は日本文化ってすばらしいと思いました。



### ③生き物探検隊 パート I

参加者数：27名

指導員：宮田賢輔〔(特) トンボと水辺環境研究所〕、野田和義、小寺星吾

内容：昆虫採集や標本づくり、魚とり大会や生き物の飼育の仕方を勉強し、自然の基礎を学びます。

対象学年 小学2年生～中学3年生

活動時間 午前10時～12時

回	月日	テーマ	内容
①	6/29	トンボ講座	トンボについて知ろう！
②	7/13	昆虫の標本作り	標本の作り方
③	7/19	昆虫採集	どんな虫が見つかるかな？
④	8/17	魚の飼育セットを作ろう	ミニビオトープのしくみ
⑤	8/23	がさがさ大会	川の魚や生き物をとろう
⑥	9/7	苔玉をつくろう	苔玉の役割や、作り方、育て方
⑦	10/5	鳴く虫を捕まえよう	どんな鳴き声？
⑧	11/23	カブトムシ講座	カブトムシの一生と、飼育の仕方
⑨	12/20	ストーンペインティング	どんな石？ 何を描く？
⑩	1/18	冬眠している生き物を探そう	どんな生き物が見つかるかな？

#### 講師コメント

- ・ 2年生や3年生が多く、生き物にどっぷりつかるといった経験も初めての子も多かったけれど、最後にはみんな生き物が触れなかった子は触れるようになり、好きだった子はもっと好きになった。そんな感想が多かったように思います。
- ・ 私が一番伝えたいこと「生き物や自然の大切さ」についてもとても一生懸命聞いてくれたと思います。
- ・ たくさんの生き物に触れ、感じ、魅了されとてもいい経験になったと信じています。
- ・ たくさんの子どもの笑顔、輝きをみて私が元気をもらえました。



#### 参加者感想

- ・ 山や川にいけてたのしかった。
- ・ 生き物を見るのがたのしい。
- ・ もっといろいろなものをつくってみたり、虫をつかまえたりしたい。
- ・ 植物も“さんそ”を出したりする。人が生きるためにひつようなことが知らなかった。
- ・ 水中せいぶつはいろいろいるんだなと思いました。



## ④生き物探検隊 パートⅡ

参加者数：17名

指導員：宮田賢輔〔(特) トンボと水辺環境研究所〕, 野田和義, 小寺星吾

内容：自分で竿を作って魚をつったり、真夜中に昆虫をとったり、川の生態調査、爬虫類や両生類など少し専門的な自然体験を経験します。

対象学年：小学3年生～中学3年生

活動時間：午前10時～12時（宿泊もあり）

回	月日	テーマ	内容
①	6/15	エビ、魚とりマシン	作り方・仕掛けのエサ
②	6/22	隊員バンダナを作ろう	植物で染める
③	7/20	両生類について知ろう！	両生類とは？・両生類が住める環境
④	7/20 18時～	真夜中の昆虫採集	昆虫採集の仕方（ライトトラップ）
⑤	7/21 7時～	クワガタムシ講座	クワガタの取り方・飼い方
⑥	8/2	釣りざおを作ろう！	釣りざおの作り方
⑦	8/3	釣りをしてみよう！	釣りの仕方
⑧	8/30	爬虫類について知ろう！	爬虫類とは？・爬虫類が住める環境
⑨	8/31	川の上流の生き物調べ	上流の川の特徴 ※協力:入鹿森林愛護組合
⑩	10/26	川の中流の生き物調べ	中流の川の特徴

### 講師コメント

- ・ 昨年パートⅠを受講した子がほとんどで、もう最初っから全速力！
- ・ 少しマニアックな講座でも笑いと驚きのたえない素晴らしい体験ができたと思います。
- ・ 今年はこの講座の一大イベント真夜中の昆虫採集でついにカブト、クワガタトラップに、大きなカブトムシをかけることに成功！また電気で虫を呼ぶトラップにも大きなクワガタが！！
- ・ 今年は昆虫が全体的にすくなかったですが、これにはみんな興奮しましたね～。私が一番興奮していたという噂もありますが(笑)、生き物を大切に思える大人になってくれることを心から願っています！



### 参加者感想

- ・ カニの赤ちゃんがうまれるところが見れたり、いろいろなつかまえかたや、そだてかたをおしえてもらって、とてもうれしかったです。ありがとうございます。
- ・ やってみてとても楽しくて色々わかって楽しかった。
- ・ 家では、母さんがおこるから「へび」はさわれないけど、こども大学では「へび」にさわられるから楽しいです。
- ・ 魚、虫など、いろいろな種類のものを見て、とても楽しかった。
- ・ 生き物をたいせつにしようと思った。



## ⑤サイエンス 電子工作

参加者数：18名

指導員：永井末男〔草の根電子工作〕， 中原忠義， 日比野賢二

内容：電池を使用しない鉱石ラジオからP I Cマイコン使用のテレビゲームまでを学んで作ります。

対象学年：小学4年生～中学3年生

活動時間：午前9時30分～11時30分

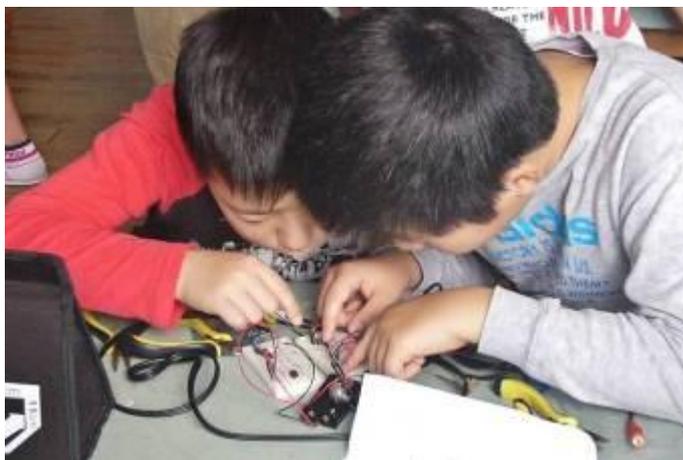
回	月 日	内 容
①	6/7	部品値の見方、部品の使用法、加工方法。ハンダ付けの練習
②	6/21	鉱石のラジオ作成 ・アクリル板の加工（穴あけ・折り曲げ加工）、アンテナコイルの作成
③	6/28	
④	7/5	
⑤	7/19	
⑥	7/26	コンピュータ使用のテレビゲーム作成
⑦	8/2	
⑧	8/24	
⑨	9/6	
⑩	10/25	

### 講師のコメント

- ・ アイデアと作る物も大変でしたが、皆さんが楽しめるような講座内容にしていきたいです。

### 参加者感想

- ・ おもしろい
- ・ すごく細かい作業をやったので、つかれはあったけど楽しかった。
- ・ テレビゲームをがんばって作った。
- ・ むづかしいけど楽しいし、家でも学校でもできないことができるから、やってよかったと思う。
- ・ 自分で、人のやくにたつものをつくりたい。
- ・ けっこうむずかしかったです。
- ・ 知らないことを知りました。



## ⑥君も エジソンに なれる！

参加者数：33名

指導員：若杉廣己〔グリーンマップ犬山〕、正垣敏三、三宅壯一郎

内容：子ども達の創造力・自立力・協調力を引き出すため、一人で考え作るもの、みんなで協力して「ソーラーカー、ペットイカダ、ホバークラフト」を作りましょう！

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前9時30分～12時

回	月 日	テ ー マ	内 容
①	6/7	太陽はあつい	ソーラーレンジ
②	7/5	光はすごい	ソーラーカー
③	7/19	光はすごい	ソーラーカー組み立て
④	8/2	光はすごい	ソーラーカー運転
⑤	8/16	水のちから	ペットイカダ
⑥	9/6	水のちから	ペットイカダレース
⑦	10/4	あるくかな？	ロボットづくり
⑧	11/8	空気のちから	ペットロケット
⑨	12/6	空気のちから	ホバークラフト
⑩	1/17	風のちから	鳥凧・江戸凧づくり

### 講師のコメント

- ・ エジソンでは、自然のエネルギーを利用する物を、年間7種類作って体験しました。
- ・ 1人で作る物は、本人の理解度により、製作時間に差を生じるが、達成感を見ることが出来、グループで作る物は、時間を追うごとにチームごとでまとまりがでてきた。
- ・ ソーラーカーのボディのデザインでは、マジックで色々な絵を描いているが、最終のスプレー色付けで、ボディの色が同系色に変わるなどした結果、グループごとにユニークな車が出来て素晴らしかった。
- ・ イカダでは、製作時はチームごとのまとまりが出てくるが、プールでのイカダレースになると、チームワークが上手くまとまらないチームもあった。
- ・ 年間通して活動を行った中で、みんな自分を出せるようになり、大きく成長したと思う。

### 参加者感想

- ・ 回を重ねるにつれてどんどん楽しくなってきました。
- ・ とても楽しかったです。来年もやりたいです。
- ・ つくって、たのしいなっておもった。
- ・ ソーラーカーが楽しかった。



## ⑦はじめての 楽しい陶芸

参加者数：22名

指導員：尾関邦彦・尾関大〔尾関陶芸教室〕

内容：基本の作り方をしっかり学び作品を作ります。一通り作ったら、気に入った作品を、さらに2種作ります。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前9時30分～12時

回	月 日	タイトル	内 容
①	6/7	基本を学ぶ	カップとお皿
②	6/14		仕上げ
③	7/5		茶碗とお鉢
④	7/12		仕上げ
⑤	8/2		花瓶とタタラの皿
⑥	8/30	応用制作	これまで作った中で、好きなものを2つ作る
⑦	9/6		仕上げ
⑧	9/13		
⑨	10/4	絵付け	
⑩	11/1	完成品発表会	

### 講師コメント

- ・ 今回で5年になりました。子供たちにとっては大変難しい講座だとは思いますが、今のところ作業を楽しんでいてくれるようです。
- ・ 今年は共同製作はせずに、出来るだけたくさんのお皿を作って貰おうと企画して体験してもらいました。
- ・ 学年は一年生から六年生迄幅広く参加して頂いてますが、わからないなりに、作ってみたい器と言うものがある、こちらが驚くようなものもありました。
- ・ 一人の子はカラフルなお茶碗。ある子はカッコいい花瓶。別の子はサンマの乗るお皿。皆個性的で世界にひとつだけの器です。そんな器を大事に使ってくれたらいいなと思っていましたら、卒業した子が、大事に使ってたけど壊れちゃったから直して欲しいとの事で、直してあげましたら、今でも大事に使ってくれているそうです。嬉しい限りです。
- ・ 卒業した皆、これから体験する皆、状態にもよりますが、壊れたら破片は棄てないで、先ず僕に相談してくださいね。



### 参加者感想

- ・ 楽しかったし友達がいっぱいできてうれしかった。
- ・ どれだけ深くしたらいいのかを考えてやるのが難しかったです。
- ・ 私は工作と絵を描くのが好きなので、とてもたのしかったです。自分の作ったコップでお茶が飲めてうれしかったです。
- ・ 形をつくるのがむずかしいけど、できあがるとすごくうれしかった。
- ・ いろいろな物を作って、いろいろなものができてうれしかったし楽しかった。
- ・ 犬山市の伝統のことができてとてもいい経験、勉強になってとても良かったです。
- ・ 陶芸教室はむずかしいと思ったけど、やっていくうちにできるようになってよかったですとおもいました。

## ⑧囲碁・将棋たいけん教室

参加者数：23名

指導員：西尾晴孝・水野忠治〔しみんてい囲碁将棋体験教室〕、岡崎伸能、鶴木廣

内容：囲碁も将棋も対戦相手と競いながら、先を読む頭の訓練に適したゲームです。

特に小さいうちからすると、効果が大きいと言われていました。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前10時～12時

回	月 日	内 容
①	6/8	<ul style="list-style-type: none"> <li>対局するときのマナーについて</li> <li>初心者に対して、対局の始め方、終わり方、基本ルールの説明</li> <li>各自の希望や目標についての聞き取り</li> <li>必要に応じてクラス分けを実施</li> </ul>
②	6/22	各回の進め方 <ul style="list-style-type: none"> <li>前半は、テキストを使い基本について説明する。</li> <li>後半は、実戦対局、順次指導対局を行う。</li> </ul> <囲碁> 初級：石の取り方。石の生き、死に。石のつながりかた。陣地のかぞえかた。 中級：つよい石とよわい石。攻め方と守り方。やさしい定石。詰め碁。 <将棋> 初級：駒の動かしかた。王のかこいかた。 中級：各種の戦法。終盤の考えかた。詰め将棋。
③	7/6	
④	7/20	
⑤	8/3	
⑥	8/17	
⑦	9/7	
⑧	9/21	
⑨	10/5	
⑩	10/19	
⑪	11/9	
⑫	11/23	
⑬	12/7	

### 講師コメント

- ・ 囲碁の方の参加者が今年は2名だったので、マンツーマンの指導が出来た。
- ・ 1人は初心者で前半の基礎学習に熱心に取り組んでくれた。
- ・ 将棋の方は、今年20名以上で2人の指導員では十分な対応が出来なかった。
- ・ 半数が初心者であり、教科書を初心者用と中級者用の2種類用意した。
- ・ 今年は女子が3名いて、その中に技術の優れた子もいたので、今後が楽しみです。



### 参加者感想

- ・ ちょっと楽しい。友だちと将棋するのが楽しい。
- ・ いろいろな人とやっておもしろかったです。
- ・ 家族でやるのと違い、他の子や友達とやる将棋はまたおもしろい！
- ・ 勝ちたい。
- ・ とても楽しい。
- ・ 将棋は前からやっていた楽しい。
- ・ 将棋はやったことがなくて、やってみたら楽しかったです。



## ⑨伊勢型紙 彫りと染め

参加者数：12名

指導員：高津京子〔伊勢型紙京彩会〕、斉藤裕未、佐波文子

内容：子どもでも作れるものを、最初はゆっくりといねいに楽しみながら作ります。  
すぐなれて喜んで作れるようになります。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前10時～12時

回	月日	内容
①	6/7	刷毛染め 花や蝶の柄①
②	6/21	刷毛染め 花や蝶の柄②
③	7/12	型紙作り かわいい魚（金魚など）の柄①
④	7/26	型紙作り かわいい魚（金魚など）の柄②
⑤	8/9	刷毛染め トンボ、虫などの柄①
⑥	8/23	刷毛染め トンボ、虫などの柄②
⑦	9/13	型紙作り 自分でデザインした絵を彫る
⑧	9/20	型紙作り クリスマスの柄を色紙に貼る
⑨	10/4	刷毛染め クリスマスの柄を染める
⑩	10/18	型紙作り えとの「午」を色紙に貼って飾る

### 講師コメント

- ・ 低学年の子が多いので、指導が困難な時もありました。慣れてくればそれなりに良い作品が出来るようになりました
- ・ ときには、好きな絵を書かせて、それを彫ったりもしました。とてもいい勉強になりました。
- ・ 刷毛染めは、自分の意志の赴くままに、染めたい型紙を選び、すき間もないくらい熱心に染めていました。
- ・ 休まず出席する子達は、とても上達しました。



### 参加者感想

- ・ 私は細かい作業が好きなので、伊勢型紙を彫るのも染めるのもとっても面白いです。きれいにできるとうれしいし、達成感があります。
- ・ 伊勢型紙は始めからすごく楽しかったです。絵具を使って模様が出来るのが楽しかったです。型抜きの時カッターを使って細かい作業をするのがうれしいです。
- ・ 使った事のないカッターを使えていろんなもの使えて楽しかったです。
- ・ 去年もやったけど、去年より良い作品がたくさん出来て良かった。これからも頑張りたい。
- ・ もし、伊勢型の用具があつたら、誰かのお誕生日の時にあげたいな～と思います。
- ・ 楽しかった。簡単におしえてもらったから段々上手になった。
- ・ 伊勢型紙は初めてやってみて、少し難しいけれど、結構楽しくて家でもやってみたくなりました。



## ⑩たのしく絵をかこう 午前の部

参加者数：19名

指導員：松浦茂樹・野田麻子〔楽しく絵を描こう会〕

内容：めずらしい物かくとおもしろくなる。新しいやり方でかくと楽しくなる。

みんながちがうからおもしろいし楽しい。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前の部 午前10時～12時

回	月日	テーマ	内容
①	6/28	イワシとシイタケ	色紙に「イワシ」や「シイタケ」をかく
②	7/12	自分の顔	鏡をのぞいて自分の顔を楽しく描く おもしろい顔 怖い顔 変な顔
③	7/19	Tシャツのデザイン	Tシャツに染料で自分らしくデザインをする
④	8/9	自分の体	大きな紙に自分の体をうつしとる 家の人に手伝ってもらって一緒にかく
⑤	8/23	自分の体	色を付けてくわしくかいて完成する (前回と同じ服や靴)
⑥	9/20	犬山城を描く	犬山城をかこうよく描く
⑦	10/4	キャラクター	自分の好きなテレビや雑誌の人気キャラを楽しくかく
⑧	11/1	市民展の見学	みんなで市民展の作品を鑑賞する
⑨	12/13	ゴッホに挑戦	ゴッホになったつもりで力強く描く
⑩	1/10	するめ	するめをそっくりにうつして、おいしそうにかく

### 講師コメント

- ・ 今年の参加者は、低学年の児童が多く、題材が難しくはないか。少し心配をしてスタートを切りました。
- ・ 参加者全員が、どの題材にも積極的に取り組んでくれました。それぞれが自分の感性で、自分なりに課題をとらえて作品づくりに取り組むことができよかったです。
- ・ これからも決められた題材を、それぞれの個性に合わせ、自分らしく表現できるようにしていきたい。その上で、他の子の作品の良さを見つけることのできる感性と目を養うことができるとよいと思います。



### 参加者感想

- ・ おおきな絵をかいてたのしかったよ。
- ・ 楽しかったです。またやってみたいです。
- ・ うさぎが上手に描けました。
- ・ いろいろな絵をかいたり、いろいろな材料をつかえるので楽しいです。じぶんのかおの絵をかいたのが、お気に入りです
- ・ 絵を書く事が大好きなので、とても楽しく行けました。



## ⑩たのしく絵をかこう 午後の部

参加者数：15名

指導員：加藤正幸・吉田嘉男〔犬山市文化協会美術部〕

内容：めずらしい物かくとおもしろくなる。新しいやり方でかくと楽しくなる。

みんながちがうからおもしろいし楽しい。

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午後の部 午後1時～3時

回	月日	テーマ	内容
①	6/28	イワシとシイタケ	色紙に「イワシ」や「シイタケ」をかく
②	7/12	自分の顔	鏡をのぞいて自分の顔を楽しく描く おもしろい顔 怖い顔 変な顔
③	7/19	Tシャツのデザイン	Tシャツに染料で自分らしくデザインをする
④	8/9	自分の体	大きな紙に自分の体をうつしとる 家の人に手伝ってもらって一緒にかく
⑤	8/23	自分の体	色を付けてくわしくかいて完成する (前回と同じ服や靴)
⑥	9/20	犬山城を描く	犬山城をかこうよく描く
⑦	10/4	キャラクター	自分の好きなテレビや雑誌の人気のキャラを楽しくかく
⑧	11/1	市民展の見学	みんなで市民展の作品を鑑賞する
⑨	12/13	ゴッホに挑戦	ゴッホになったつもりで力強く描く
⑩	1/10	するめ	するめをそっくりにうつして、おいしそうにかく

### 講師コメント

- ・ 今年は15人と少人数でまとまりのある教室でした。
- ・ 小川先生の体調不良で困っていましたが、事務局の対処が早く、代理に松浦先生をお呼び頂き助かりました。
- ・ もう、そろそろ、ここらでやめる時期だなと思う事がありましたので、この26年度で最後の講座と致しました。
- ・ 長い間、講師を楽しませていただきました事、厚く御礼申し上げます。



### 参加者感想

- ・ 「いわし」と「しいたけ」をはじめてかいてむずかしかったです。
- ・ 世界に1枚だけのTシャツをつくらうで、はじめてアイロンをつかったり、白いTシャツに絵をかいたりして、たいへんだったけど、すごくいいTシャツができたので、おもいでになりました。
- ・ はじめからふでペンで書くので、上手にできるように考えられることができると思いました。いろんな絵の具やクレヨンを用意してもらえるので便利です。



## ⑫和太鼓を たのしく たたこう

参加者数：18名

指導員：柴山豊〔尾張囃子集団〕、木澤和子、松浦麻子

内容：日本の伝統楽器の和太鼓を学んで、たのしく演奏しよう！

対象学年：小学3年生～中学3年生

活動時間：午後1時30分～4時30分

回	月 日	内 容
①	6/7	小太鼓を使って 楽しくたたこう 楽譜の種類を知ろう
②	6/21	大太鼓を使って 楽しくたたこう 太鼓の種類を知ろう
③	7/12	大太鼓、小太鼓を使って リズムを覚えよう 口唱歌を覚えよう
④	8/9	大太鼓、小太鼓を使って リズムを覚えよう いろんな、たたき方を覚えよう
⑤	9/6	大太鼓、小太鼓を使って リズムを覚えよう いろんな、たたき方を覚えよう
⑥	11/8	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑦	12/6	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑧	12/27	基礎打ちの練習 ほうねん太鼓を練習しよう
⑨	1/17	発表会での披露曲の練習
⑩	1/31	発表会での披露曲の練習

### 講師コメント

伝統楽器和太鼓を学んだ君と、教えた私について。

型にはまってみましょう。

伝統と言う時間と才能が積み上げ、織り成して来た形態には、

淘汰されつくした型、様式があり、無抵抗に身を委ねると無理と無駄のない心地よさに包まれます。

他人に自分の気持ちを伝える技法を伝統芸能から学び、小さく

芽生える型からはみ出そうと抗がう自分を発見し、育み、花咲かせようと、今、稽古場に居ます



### 参加者感想

- ・ しめと大だいこで、両方やるときに、相手が大だいこで、自分がしめだと、大だいこの音がひびく。たいこがえらべるのがいい。
- ・ 太鼓はただたいて遊ぶだけでかんたんだと思っていたけど、やってみるといいとむずかしかったいろいろな歴史やでんとうのたたきかたをしてとてもよかった。
- ・ 知っているリズムがでてきておもしろい。
- ・ 私は和太鼓をやるのが2年目なので、1年目よりかは、2年目のほうが上手に和太鼓をたたくことができたので、よかったです。
- ・ 和太鼓の難しいリズムは、ぼくも難しいと感じたけど、できるようになった時の気持ちはとてもよかったので、やってよかったなあと思いました。また、自分では考えないリズムをやることのできるのも、よいと思いました。



## ⑬押し花で ものづくり

参加者数：22名

指導員：三谷文子 [押し花千種の会]、紀藤郁枝

内容：日常生活の中に押し花を取り入れ、花にふれることによって、心の豊かさ、やさしさを感じ取ってほしい。

対象学年：小学1年生～6年生

活動時間：午前10時～12時

回	月日	内容	ねらい
①	6/7	名札・キーホルダー	ピンセット・ボンドの使い方
②	6/21	押し花作り	きれいな押し花の作り方を学びます
③	7/5	マグネットシート・定規	お知らせなどをきれいに飾りましょう
④	7/26	葉っぱのランチョンマット 花の箸袋 (はしぶくろ)	テーブルを明るく、楽しくしてくれます
⑤	8/9	クリスタルスタンド	花いっぱいのかご
⑥	8/23	クリアファイル	予定表やお知らせをはさんで役立てましょう
⑦	9/6	色紙に押し花を！	ウェルカムボードなど、思いおもいのものを作ります
⑧	10/4	しおり作り	自由な形をいろいろ作りましょう
⑨	11/8	クリスマスカード	すてきなクリスマスカードを作りましょう
⑩	12/6	押し花でおひな様	3月を楽しみに・・・

### 講師コメント

- ・ 今年の受講生の半数ほどが、即断即決で手早く仕上げる傾向がありました。なるべく、本人らしい作品を尊重していますが、あまりにも手抜きだと思えると、先生が手を加えます。それを嫌がる子どももいて、指導の難しさを感じます。
- ・ 今年も押し花器を各自に与え、押し花の製作を指導しました。生花と押し花の違いが理解できて、よい試みだと思えます。
- ・ 教室の中で友達が出来、早く作品が仕上がった後、お互い遊びを考え、ちょっと騒ぎすぎたら注意もしますが、本当に楽しそうに遊んでいるのを見ると、子ども大学に参加して良かったと思えます。
- ・ 欠席などの連絡や、毎回の送迎をしてくださったご父兄の皆様へ感謝申し上げます。



### 参加者感想

- ・ 家や学校では出来ない事が出来て、自分の部屋がきれいになったような気がする。
- ・ 先生が優しくしたので楽しく通うことが出来ました。毎回、ステキな物ばかり作れて楽しかった。これからも家で押し花を作るキットがもらえてうれしかった。
- ・ 押し花は最初よくわからなかったけど、先生に教えてもらってわかった。そして楽しい！
- ・ 最初は簡単そうと思っていたけど、やってみたら難しくてたいへんだったけど、今はとても楽しいです。
- ・ 毎回かわいい作品が出来るので楽しい。自分で押し器で花を押せるようになったのでよかった。
- ・ 私は押し花教室に入ってから花を押すのがうまくなりました。それは押し花教室に通っているからだと思えます。押し花教室、楽しいです。

## ⑭犬山原始人クラブ

参加者数：23名

指導員：高林徹雄〔犬山原始人クラブ〕、佐藤文朗、澤田省吾

内容：火おこし器や縄文土器などのものづくりや自然体験を通し、昔の人の知恵や技を、今の私たちの生活に生かし、たくましく生きる力を身につける。

対象学年：小学4年生～6年生

活動時間：午前9時～12時（終日もあり）

回	月日	内 容
①	5/31	オリエンテーション 火おこし器を作る
②	6/8	火をおこし炎にする
③	7/19	青竹でパンを焼く & 板取川で泳ぐ
④	7/26	空き缶でご飯を炊き、五平餅にする & 板取川で泳ぐ
⑤	8/6	石器作りと、石での火おこし体験 & 板取川で泳ぐ
⑥	9/23	縄文風土器を作る & 板取川で泳ぐ
⑦	10/4	わらじ・竹の水筒作り
⑧	10/11	縄文風土器の野焼き & 竹笛を作る
⑨	10/19	土器の窯出しをする & 芋を焼く
⑩	11/2	中山道「妻籠宿」を歩く
⑪	11/16	つるかご作り
⑫	11/23	サバイバル飯炊きをしよう

### 講師コメント

- ・ 23名は指導上適当な人数であったが、土曜日に他の習い事をしている児童は、優先順位を考えてから入ってほしい。
- ・ 参加児童の保護者が非常に協力的で、板取川での川遊びの時は、多くの方に監視や補助をしていただいた。また、最後のサバイバル料理の活動では、食材を持ち込み美味しい豚汁を作っていただき、子ども達にも大好評だった。
- ・ 活動時間の内、物作りの時間がほとんどとなるが、子ども達はとても集中して取り組んだ。いろいろな道具を使い、ケガを心配したが、皆無に近い状態で、子ども達はとても立派な匠になった。
- ・ 中山道は「馬籠宿」から「妻籠宿」を、ワラジをはき、竹の水筒を持ち、昔の出で立ちで歩く計画を立てたが雨天だったため、町並みの見学をするだけになり残念であったが、活動で一番人気があった。

### 参加者感想

- ・ 火おこし器やサバ飯など学校や家で出来ない体験が出来てうれしかった。みんなといっしょにやるのが楽しかった。
- ・ いろいろ作ってかざりが出来てよかった。
- ・ 昔の人はすごく苦勞して生きていたと思いました。
- ・ すごく楽しかった。ふつうの生活をしていたら出来ない事がたくさん出来た。
- ・ 原始人クラブでとても昔が大変な事が分かりました。これからはいろいろ知っていきたく感じました。
- ・ もし災害があったときに原始人でならったことをいかしたいと思いました。
- ・ いろいろなやり方でごはんなどがたけておもしろかった。
- ・ 手作業でやるのも、おもしろかったです。



## ⑮ レクスポーツって なんだ？

参加者数：38名

指導員：林栄五郎・尾藤定・別府良助・遠藤淑子・松山清子〔犬山市レクリエーション指導者クラブ〕

内容：なかまをつくろう！なかまとあそぼう！なかまと楽しもう！おもしろスポーツをきわめましょう。

対象学年：小学1年生～6年生

活動時間：午前10時～12時

回	月日	内容
①	6/14	ラダーゲッター・チャレンジザゲーム3種
②	6/21	ラダーゲッター・チャレンジザゲーム3種
③	6/28	ラダーゲッター・チャレンジザゲーム3種 記録会
④	7/12	ラダーゲッター・チャレンジザゲーム3種
⑤	8/30	ラダーゲッター・チャレンジザゲーム3種
⑥	9/20	ラダーゲッター・チャレンジザゲーム3種 記録会
⑦	10/11	ラダーゲッター・チャレンジザゲーム3種
⑧	10/18	ラダーゲッター・チャレンジザゲーム3種
⑨	11/8	ラダーゲッター・チャレンジザゲーム3種 記録会
⑩	11/22	ラダーゲッター大会・ドッチビー大会

### 講師コメント

本講座のねらいは、次の4つである。

- 楽しみながら体を動かし、スポーツをすることの喜びを体感する。
- 楽しみながらスポーツをすることで、体力向上を図る。
- 自分自身の記録に挑戦し、できたときの成就感を味わう。
- 皆で協力し合うことの楽しさや喜びを実感する。

これらのねらいを達成するため、この講座では、『チャレンジ・ザ・ゲーム』を中心に、『ラダーゲッター』『ニチレクボール』『キンボール』といったレクリエーションスポーツを行った。

これらのレクリエーションスポーツの特徴

- 結構運動量がある。
- 内容が比較的簡単であるので、練習を積み上げ上達できる。
- 参加するグループ全員が協調することが必要である。

また、現代の子どもたちは、みんなで協力するということがとても苦手なようである。そこで、10回の講座を通して、競技するグループが協力できるように、「声を掛け合うこと」「励まし合うこと」「失敗しても責めないこと」「互いに教え合うこと」を繰り返し繰り返し子どもたちに指導し、競技が上達したときには、即座に認め、共に喜んだ。その結果、子どもたち皆が、協力して競技に取り組み、「みんなでできたとき」「みんなが上達できたとき」、子どもたちの喜びや成就感は、とても大きなものであった。

今後も、子どもたちに、これらの感動を味わってもらえるように、支援していきたいと思う。

### 参加者感想

- ・ 楽しかった、ラダーゲッターが、かんたんかなあと思ったら、うまくかからなくて、けっこうむずかしかったです。
- ・ わたしが今までやったことがないことで、楽しかったです。



## ⑩冒険教室 ～基礎コース～

参加者数：18名

指導員：古澤法之・古澤長流〔ワークショップこころ〕

内容：山登り、川遊び、キャンプにゲーム。

遊びやグループ体験を通じて自信を持ったり、仲間づくりをしましょう。

自分自身に向けた小さな冒険のはじまりです。

対象学年：小学3年生～中学3年生

活動時間：午前9時～12時（宿泊もあり）

回	月日	内 容
①	6/8	「チェックインと、少しフィールド探検」初めて出会う仲間達と、これから何しようか？
②	6/22	「初めてのナイフワーク」木や枝を削ってみる、ナイフ体験で集中力、五感を養う
③	7/6	「初めてのファイヤーワーク」自分だけの小さな火を作る
④	8/31	「フィールド探検 ～川～」 河原を探検しよう。
⑤	10/11	「フリーキャンプ(宿泊)」 何をするのか自分達で決める、2泊3日の冒険の旅。
⑥	10/12	
⑦	10/13	
⑧	11/23	「ファイヤーワークⅡ」自分の火で温めてみる
⑨	12/14 9時～	「フィールド探検 ～森～」 森を探検しよう。
⑩	12/14 13時～	

### 講師コメント

- ・ 年を重ねる毎に、上級コースとの差別化が難しくなっていると感じます。
- ・ 前年度に上級コースでやったことを、低学年にも対応できるよう少しだけアレンジしてプログラム化する。
- ・ 上級コースの難易度が上がると共に、基礎コースの難易度も上がる。
- ・ すでに2年前の上級コースに、今年的基础コースは近づいています。来年度はもっと、基礎コースで学ぶ（大切に）することを明確にして望みたいと思います。
- ・ 「基礎」の上に「上級」があるということではなく、基礎コースでしか学べない（大事に扱わない）ことが沢山あるので、そこにフォーカスしたいと思います。
- ・ また今年度は、フリーキャンプの経験豊かなスタッフを加えたのが、非常に大きな成果をもたらしたと感じました。



### 参加者感想

- ・ 山の中に入ったり、川に入ったり、学校や、家ではできない事ができるから楽しい。キャンプは一回しかなかったけど上級コースでは、何回もキャンプがあるから楽しみ。
- ・ おもしろいと思った。キャンプがおもしろかった。
- ・ キャンプで、自分たちで買い物に行ったり料理をしたりして、楽しかった。友達がふえてうれしかった。

## ⑰子どもの自然教室 午前の部

参加者数：23名

指導員：古澤法之・古澤長流〔ワークショップこころ〕

内容：身近な森へ入って、野原や川で遊んで、採って、食べて、香って、作って、染めて・・・。

犬山の自然をいっぱい感じてみよう！

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午前の部 10時～12時

回	月日	テーマ	内容
①	6/7	初夏の森たんけん	はじめまして仲間と、森と出会う
②	6/21	葉っぱを食べる	ワイルド食にチャレンジだ
③	7/5	バンブー楽器	竹の楽器づくり
④	7/19	雨でも生き物がさし	雨でも、虫を探しに出よう
⑤	8/9	川ガキになっちゃおう	川遊び、魚捕り ※協力:入鹿森林愛護組合
⑥	9/6	石のペンダントづくり	石を削って、美しくみがく
⑦	10/25	葉っぱで染め物	身近な植物で染める
⑧	11/22	森のフォトコンテスト	身近な自然を切り取ろう
⑨	12/13	森の恵みでものづくり	自然素材で飾りを作る
⑩	1/17	ありがとう&さよならパーティー	手作りパーティー♪

### 講師コメント

- もともと自然教室では、自然の中で楽しく遊ぶことに重きを置いてきました。
- ただ、生き物探検隊という生き物に特化した教室が設けられたことや、もっと暮らしに結びついた学びの場をきづきたいという思いとも重なり、最近では生きる知恵を育むようなプログラムを展開しています。
- ノコギリを使って切る。ナタで割る。ナイフで削る。針金で止める。ヒモで縛る。火と水で茹でる。蒸気で蒸す。すり鉢で擂る。色を搾る、付ける。虫を追いかける。魚を追い込む。隣人と競う、協力する・・・等々。
- どれも生きるための素晴らしい知恵や力だと思います。それらを、自然の偉大なる力を借りながら、共に学んだ10回でした。



### 参加者感想

- 石からアクセサリを作ったり、弓を作ったりするのは大変だったけど、出来た時はすごくうれしかったです。
- たくさんの物を作ったり（てづくり）できてたのしかった。
- せんせいがおもしろい
- 弓やがいっぱいとんでうれしかった。川に行けなくてざんねんでした。
- 石のペンダントづくりが楽しくて、けずる時はすごく楽しかったです。
- わたしは、自然教室をやって、感じたことは、自然はもともと好きだったけど、キケンなものもあることは知りませんでした。自然教室をやってほんとうによかったです。

## ⑩子どもの自然教室 午後の部

参加者数：23名

指導員：古澤法之・古澤長流〔ワークショップこころ〕

内容：身近な森へ入って、野原や川で遊んで、採って、食べて、香って、作って、染めて・・・。

犬山の自然をいっぱい感じてみよう！

対象学年：小学1年生～中学3年生

活動時間：午後の部 1時30分～3時30分

回	月日	テーマ	内容
①	6/7	初夏の森たんけん	はじめまして仲間と、森と出会う
②	6/21	葉っぱを食べる	ワイルド食にチャレンジだ
③	7/5	バンブー楽器	竹の楽器づくり
④	7/19	雨でも生き物がさがし	雨でも、虫を探しに出よう
⑤	8/9	川ガキになっちゃおう	川遊び、魚捕り ※協力:入鹿森林愛護組合
⑥	9/6	石のペンダントづくり	石を削って、美しくみがく
⑦	10/25	葉っぱで染め物	身近な植物で染める
⑧	11/22	森のフォトコンテスト	身近な自然を切り取ろう
⑨	12/13	森の恵みでものづくり	自然素材で飾りを作る
⑩	1/17	ありがとう&さよならパーティー	手作りのパーティー♪

### 講師コメント

- ・ もともと自然教室では、自然の中で楽しく遊ぶことに重きを置いてきました。
- ・ ただ、生き物探検隊という生き物に特化した教室が設けられたことや、もっと暮らしに結びついた学びの場をきづきたいという思いとも重なり、最近では生きる知恵を育むようなプログラムを展開しています。
- ・ ノコギリを使って切る。ナタで割る。ナイフで削る。針金で止める。ヒモで縛る。火と水で茹でる。蒸気で蒸す。すり鉢で搗る。色を搾る、付ける。虫を追いかける。魚を追いつまむ。隣人と競う、協力する・・・等々。
- ・ どれも生きるための素晴らしい知恵や力だと思います。それらを、自然の偉大なる力を借りながら、共に学んだ10回でした。



### 参加者感想

- ・ 子ども自然教室をやって、ハンとか弓矢を作って、すごく楽しいです。あと作るのもやっぱりたいへんです。来年もまたやりたと思っています。
- ・ すごく楽しいから来年もやりたいです。
- ・ すごく楽しいし、ともだちもたくさんいたのしかった。山の中に入るのがちょっとこわかったけど、入ってみたらたのしかった。石のペンダントもきれいだったし、先生とノリーとゆかちとぐりこともっちーもやさしいから来年もやりた。
- ・ 弓矢をつくってあそんだのが、たのしかった。



## <あいちモリコロ基金助成事業>

### ①□ 生き物探検隊 クライマックス

参加者数：13名

指導員：宮田賢輔〔(特) トンボと水辺環境研究所〕, 野田和義

内容：いろいろな生き物ゲットしよう！これで君も『生き物博士』だ！

対象学年：小学4年生～中学3年生

活動時間：午前10時～12時（バス移動の回は、9時～15時）

回	月日	テーマ	内容
①	6/21	エビ・カニ教室	エビやカニの見分け方と住める環境について
②	6/28 (バス)	日本の淡水魚探索	なぜ、岐阜の川には魚が多いのか？
③	7/6	犬山の生き物探索	犬山の自然の特性
④	7/27 (バス)	岐阜の山探索	犬山と岐阜の自然環境のちがいを
⑤	8/24 (バス)	海の魚を釣ってみよう	釣り方、どんな魚が釣れるか？
⑥	9/23 (バス)	海岸の生き物観察	海岸の生き物の役割
⑦	9/28	貝殻標本とストラップ作り	標本とストラップの作り方
⑧	10/18 (18時～21時)	真夜中の大物トラップ	夜行性の生き物について、トラップの種類
⑨	10/19	犬山のグルメ	いろいろな生き物を食べてみよう
⑩	11/16	守れ犬山の自然！	川を良くするためには？

### 講師コメント

- ・ 生き物探検隊クライマックスでは今年も質の高い環境学習ができました。しかし今年は生き物、特に昆虫の数は少なめ・・・。
- ・ 昆虫の好きな子には残念な年でした。自然と言うのは思い通りにはいきません。毎日結果が違います。だから面白い！そこで考え、チャレンジする。無限の答えを提示してくれる大自然への探検。そこから生きる力が育まれるものだと思います。
- ・ この講座では、県外、または中々自分では行くことができない遠い場所にもいきます。そこで自分の住む町との比較ができるのもとても大きな学びの一つ。当たり前のように思っていた自分達の周りの貴重な自然に気付き、大切にしようと思う気持ちが生まれて、反対に本当はあるはずだったものがないことにも気づくはず。です。
- ・ 各回で出会った沢山の生き物を通して、多くの大切な宝物を手に入れたと思います。みんな生き物が大好きです、そしてただの生き物好きではなく生き物や自然を大切に思える人になれたと思います。
- ・ 犬山の自然は自分たちで守る！そう、この講座でつかまえたのは僕らの地球の未来なのです！

### 参加者感想

- ・ いろいろな魚や虫を見たりさわったりして、とても楽しかったです。
- ・ この講座はすごく楽しい。楽しいだけでなく参加していなければ分からないこともたくさん学べます。
- ・ この講座に参加して、いろいろな虫の種類がわかってよかったです。
- ・ ふだん出来ないことをやれて楽しい。いろいろな生物や植物のことを知ることが出来てよかったです。
- ・ 家では連れて行ってもらえない場所や自分だけでは出来ないことも体験できるし、先生や他の大人もすごく楽しくいろいろなことを教えてくださるのでこの講座が大好きです。



## ②冒険教室（上級コース）

参加者数：14名

指導員：古澤法之〔ワークショップこころ〕, 山田美穂

内容：リュックに衣食住を詰めこんでの山旅、川の源流探索、ダンボールいかだでの川渡り、耐寒の冬キャンプなどなど、他ではできないワイルドキャンプです。さあ、自分の限界を広げよう！！

対象学年：小学4年生～中学3年生 活動時間：9時～16時（宿泊もあり）

回	月日	テーマ	内容
①	7/20	出会う、知る ～冒険の始まり～	初めて出会う仲間、自分自身と向き合う
②	8/21	チャレンジキャンプ（宿泊） ～ダンボール筏～	チームに分かれて難題にチャレンジ きみはクリアできるか
③	8/22		
④	9/7	源流探索	川をさかのぼってみよう
⑤	10/26	サバイバル術 1 ～狩人になる～	食べることは生きること。そのスキルを磨く
⑥	11/8	バックパッキング（宿泊） ～山旅～	ザックを背負って山へ行こう
⑦	11/9		
⑧	12/7	サバイバル術 2 ～キャンプスキル～	焚き火、ナイフワーク、ロープワークの再確認
⑨	1/24	冬のファイヤーキャンプ（宿泊）	冬の野営体験をしよう 火を使って寒さに立ち向かえ！
⑩	1/25		

### 講師コメント

- ・ 年々難易度がアップしていく本講座ですが、こちらの想定を遙かに超えて、子ども達は障壁を乗り越えていきます。
- ・ スタッフの力量向上もさることながら、それ以上に、子どものポテンシャルの高さには目を見張るものがあります。私たち大人が待つことさえ恐れなければ、子どもは自らの力で立ち、集い、考え、合意し、意志決定して実行するでしょう。そこにどう関わっていくか、大人としての経験やスキルが試されるのです。
- ・ 狩猟道具であるナイフづくりでは男子が奮闘し、住処づくりでは女子が絶大な力を発揮しました。
- ・ 段ボール筏では究極アイテムである耐水シートを使うことなく川を渡り、サワガニやザリガニを貪り、濡れた木でも火を熾し、山で材を切り出して箸を削り、雨に打たれながらおむすびを頬張りました。
- ・ 雨に濡れながら歩き続けた時間、火を囲んで寒さを凌いだ夜、獲物を自分で狩って食べた経験が原体験として色濃く残ってくれば嬉しく思います。
- ・ もっと強く、もっと逞しく、もっと知恵をしぼって、もっと生き活きと。留まることなく成長されることを望みます。



### 参加者感想

- ・ 火起こしの最初の点火が大変だった。ごはんを作るのは大変だった。
- ・ チームワークや協力が必要だった。
- ・ テントを立てることだけにすごく時間がかかって大変だった。
- ・ 少しハードだけど楽しい。

特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会

〒484 - 0082 犬山市大字犬山字北古券甲 98 - 1

TEL : 0568 - 61 - 7710

FAX : 0568 - 61 - 8108

E メール : [center@inuyama-shimintei.com](mailto:center@inuyama-shimintei.com)

ホームページ : <http://www.inuyama-shimintei.com/>